

# 海洋教育(海事教育)に 関する国土交通省の取組み

令和4年12月

国土交通省海事局

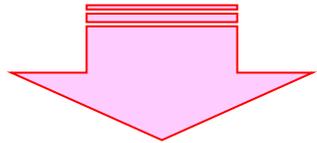
海洋教育・海事振興企画室

四方を海に囲まれ、エネルギー資源を海外に依存している我が国において海洋産業は

- ・ 社会経済の発展と国民の生活の安定を図る基盤
- ・ 海洋産業が集積している地域の経済と雇用を支える重要な産業
- ・ 海洋資源・エネルギーの開発は、将来の日本を支える成長分野

海洋産業を支えるのは高度かつ専門的な知識と技術をもった優秀な人材

(安定的な人材確保は、国民の多くがその職業を認識し、選択することによって成立)



**国民の目に触れる機会が少ない海洋産業に目を向けてもらい、将来の就職先の選択肢としてもらうために**

## 次世代を担う子どもや若者を中心とした国民に対する 海洋・海事への理解と関心の喚起

- 小中高校における海洋教育（海事教育）の推進
- 海や船に触れる機会の創出と、海洋・海事に関する情報発信



## 海洋教育プログラム

- ◎ 海洋教育プログラム（教員の指導要領）の作成(平成29年度～)
- 【社会科指導案】 海事教育を授業に導入する際の指導方法の提案
  - 【副教材資料の活用】 授業で活用する資料を選択する際の参考
  - 【社会科以外の科目等での活用】 他教科での海洋教育を提案
- ※複数の学校において試行授業を実施し、効果測定及び改善を図る。

## 海洋教育推進事業概要

### スケジュール

	H29	H30	H31(R1)	R2	R3
小学校	プログラム試作	プログラム試行(首都圏)・改善	プログラム試行(地方)・改善・動画公開	成果物の普及 海洋教育開始	
中学校	プログラム試作	プログラム試行(首都圏)・改善		プログラム試行(地方)・改善・動画公開	成果物の普及 海洋教育開始

※ 新しい学習指導要領に基づく授業開始(令和2年～小学校、令和3年～中学校)



試行授業の様子



教員との事後協議

海洋教育実施の支援体制整備・成果物の普及による効果的な海洋教育の実施

➡ 学生の海事産業への理解増進及び将来の就職先としての意識付け

### 【本省事業】

#### ①オンライン授業ビデオの制作(7分程度×3種類)

内容:小学生を対象に海運、造船、船員の各分野に関する普段は見られない仕事の様子、船舶、施設の映像及び質問等を含めたもの。

講師:小中学校の教育(学習指導要領の内容)に知見のある大学教授等

#### ②有識者委員会における事業内容の検討、確認(年2回開催)

#### ③オンライン授業ビデオのWEB公開(YouTubeの活用)

#### ④全国の社会科教員、小中学生、保護者等への周知活動

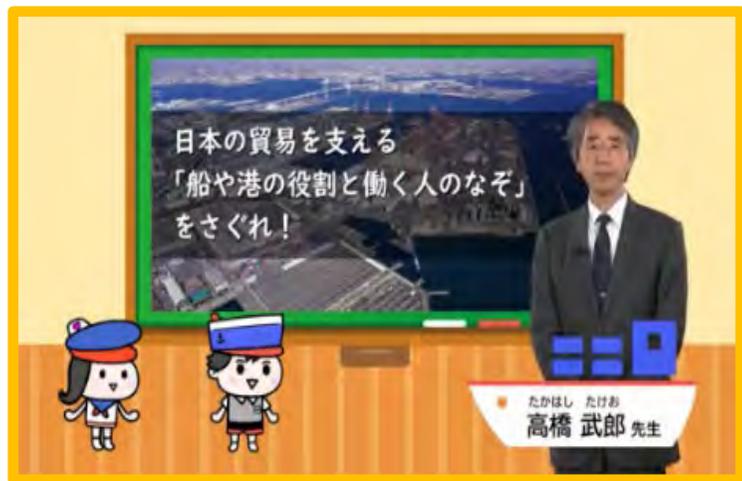
- ・教員向け支援サイトへの掲載(例:東書Eネット、EDUPEDIA等)
- ・社会科研究協議会等での広報活動
- ・小中学生向け広報誌等への掲載(小学館発行誌、朝日新聞ジュニアエラ等)

↓ オンライン授業ビデオを海洋教育に活用 ↓



### ○導入スケジュール

	R3	R4
小学校	オンライン授業ビデオ3種類の制作	オンライン授業ビデオ周知・普及



### 【地方事業】

#### 海事産業に対する理解促進(各種理解促進の機会提供)

普段接する機会の少ない海運、造船等の海事産業や船員の職業に関する講義や施設見学等を通して、児童に体験型学習の場を提供するとともに、教員、保護者には、児童への海洋教育実施のための理解促進を図る。

対象者:児童、教員、保護者

実施内容:出前講座、教員や保護者への研修(施設見学等)

